

道路特定財源関連法案の早期成立を求める和歌山県総決起大会

道路特定財源関連法案が3月中に成立しなかったことに伴い、継続中の事業を含め、大部分の道路事業の執行の見合わせを余儀なくされるなど、極めて深刻な事態となっています。

このままの状態が続けば、今後の道路整備が立ち行かなくなるだけでなく、県、市町村の財政に重大な影響を与えることとなります。

このため、県、県議会、市町村、市町村議会や民間の各団体が一丸となって、関連法案の早期成立を求める総決起大会を開催します。

【決議予定】

地方に真に必要な道路整備を停滞させることのないよう国、地方の道路財源を十分確保すること。

道路特定財源の関連法案を速やかに成立させること。万一参議院で法案が成立しなかった場合は、再可決により関連法案を成立させること。

関連法案が成立するまでに生じた地方の歳入欠陥については、国の責任において、特別な措置を講じること。

遅れている地方の道路整備と計画的修繕・更新を地方公共団体が主体的に行うため、地方道路整備臨時交付金制度を継続し、拡充すること。

道路特定財源関連法案の早期成立を求める和歌山県総決起大会

日時：平成20年4月12日(土) 10:00～11:00

場所：ホテルアバローム紀の国 3階 孔雀の間

主催：和歌山県、和歌山県議会、和歌山県市長会、和歌山県町村会
和歌山県市議会議長会、和歌山県町村議会議長会
、和歌山県道路協会、和歌山県市町村道整備促進期成同盟会

共催：和歌山県商工会議所連合会、和歌山県中小企業団体中央会、和歌山県商工会連合会、和歌山県経営者協会、(社)和歌山経済同友会
和歌山県農業協同組合中央会、和歌山県漁業協同組合連合会
(社)和歌山県観光連盟

来賓：県選出国會議員（以下の方にご案内）（敬称略）
衆議院議員 谷本龍哉、石田真敏、二階俊博、西博義
参議院議員 鶴保庸介、世耕弘成、大江康弘

内容：主催者・来賓（国会議員）挨拶
決議
国会議員への要望書手渡し

大会後、平成20年4月18日に、自民党本部、公明党本部、国民新党本部などに要望活動を予定。

これまでの上記関係団体合同での取り組み

- 平成19年12月27日 道路特定財源諸税の暫定税率等の延長を求める和歌山県決起大会
- 平成20年1月16～17日 道路特定財源諸税の暫定税率等の延長を求める要望活動
(要望先)内閣、自民党、民主党、公明党、国民新党、社民党